

令和6年2月8日

## 【カーボンニュートラルに向けた CO2 排出量見える化の取組み】

環境市民部生活環境課

## 1. 背景

「2050年カーボンニュートラルシティ実現に向けたロードマップ」では、裾野市独自の取組みである「すその de カーボン」による CO2 排出量削減推進を標榜。今年度は、「すその de カーボン」の軸となる、CO2排出量の「見える化」に取り組んでいる(※)。

## 2. CO2 排出量を「見える化」する意義・狙い

- (1) 各排出者の CO2 排出量を実態ベースで把握することができる。
  - (2) 各排出者の温暖化対策活動の効果をデータで把握することができる。
  - (3) 各排出者において、同属性・同エリア内等の他者との比較ができるようになる。
- 「納得感」により、市民・事業者の意識醸成～自発的な活動・連携した取組みへ

## 3. 今年度の取組みのポイント

実態を捉えづらい「家庭部門」の CO2 排出量の見える化に向け、市役所職員・市議会議員に対して令和4年度のエネルギー使用量等に関するアンケート調査を実施し、各家庭の CO<sub>2</sub> 排出量や省エネ取組み状況・意識等のデータを収集。以下の成果を得た。

- (1) CO2 排出量や省エネ行動状況等を、世帯特徴も捉えて分析(数値化・グラフ化)。  
(詳細はパワーポイントで説明)
- (2) ロードマップの3本柱の1つ「仕組み」の構築を通じた EBPM(エビデンスに基づく対策検討・効果検証)の実践(第一弾としてデータに基づく課題や対策の検討)。

## 4. 今後の展開

- 市役所職員・市議会議員の2年分(令和4年度、令和5年度)のアンケート結果をもとに、「見える化」の精緻化や、省エネ行動の自発的な取組みに向けた後押しとして試行した「ナッジ」の効果の分析を行う。
- アンケートの対象者を一般市民へ拡大し、家庭部門の CO2 排出量の見える化を通じた家庭部門における課題の分析や対策の検討。
- 家庭部門以外も見据えた見える化の対象拡大により、カーボンニュートラルシティ実現に向けた区域の様々な関係者における機運の醸成と具体的な行動につなげていく。

問い合わせ／裾野市 環境市民部 生活環境課 担当:井伊 TEL:055-995-1816

(※)財トヨタモビリティ基金、トヨタ自動車(株)未来創生センター、みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)、(株)エックス都市研究所との連携による。